

## 福島第一原子力発電所 J8エリアタンクの解体作業着手

- フランジ型および溶接型タンク解体を進めているEエリアを2号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設場所として、また、Eエリア近傍のJ8、J9エリアを3号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設場所として計画しています。
- J8、J9エリアのタンク解体に関する実施計画が2025年2月に認可されたことから、ALPS処理水の海洋放出により水抜きが先行しているJ9エリアタンクの解体作業に2025年2月14日から着手し、作業は2025年9月3日に完了しました。  
＜以上、2025年9月3日までにお知らせ済み＞

- J8エリアタンクの解体に向けた準備が整ったことから、本日（2026年1月20日）、作業に着手しました。解体作業の完了時期は、2026年度末頃を予定しています。
- J8エリアタンクは処理途上水を貯留していましたが、線量測定の結果、J8エリアの全9基のタンク内の線量が「バックグラウンド相当\*」であることを確認しました。
- 解体作業は安全最優先で進めてまいります。

\*バックグラウンド相当：J8エリアタンク周辺の線量の平均値以下であること



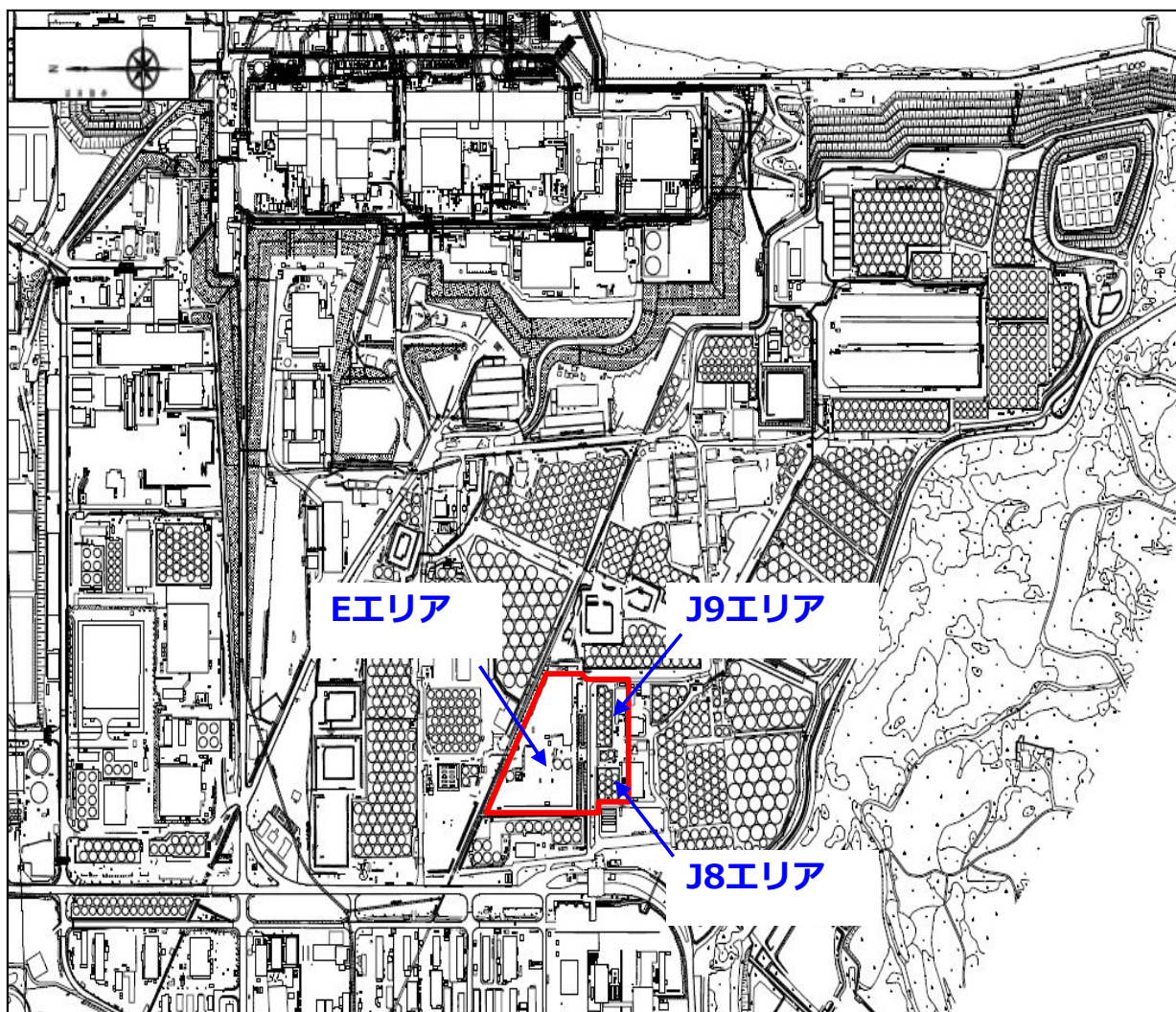
＜J8エリアタンクの天蓋を撤去する様子＞



＜J8エリアタンクから撤去した天蓋＞

## J8、J9エリアタンクの解体概要

- J8エリアタンクの解体に先立ち、処理途上水のタンク間移送は2025年7月～9月に、残水移送作業は9月～11月に実施していました。2025年11月から準備作業（タンク間の連結管撤去作業や周辺整備工事等）を実施していました。



### 【J9エリア】

容量 : 700m<sup>3</sup>/基

基数 : 12基

貯留水 : ALPS処理水(放出済み)

解体  
済み

### 【J8エリア】

容量 : 700m<sup>3</sup>/基

基数 : 9基

貯留水 : 処理途上水(移送済み)

今回  
解体  
実施